

ルールの序列

- 1.1 個別のコンテストのルール(フィールドデーを含む)がすべてのARRLコンテストに適用される一般ルールよりも優先される
- 1.2. HFコンテストの一般ルール、VHFコンテストの一般ルールがすべてのARRLコンテストに適用される一般ルールよりも優先される

参加条件

- 2.1. 参加者はARRLコンテストルールを遵守することに合意する
- 2.2. 参加者は参加国の免許発給機関の法律を遵守することに合意する
- 2.3. 参加者はARRLアワード委員会の決定に従うことに合意する
- 2.4. 提出されたログはARRLの財産となる

一般ルール

- 3.1. すべてのオペレーターは常時オペレーター免許、局免許に定められた範囲内で運用する
- 3.2. QSOの成立のためには双方のコールサイン、コンテストナンバーが送受信されて、確認され、双方のログに正確に記載されなければならない
- 3.3. コンテスト期間中に一人のオペレーターは複数のコールサインを使わぬこと
- 3.4. 同一局との交信は同一バンドで一回のみ得点としてカウントする
- 3.5. コンテスト期間中にすでにコンタクトに使われた送信機を他のコールサインで使わないこと. 例外として家族で無線局を共有し別のコールサインを別のオペレーターが使用することは認められる. (この規定は家族で無線設備を共有している場合を考慮し、作り上げられたコンタクトを防ぐことを目的としている)
- 3.6. ARRLコンテストでは海上移動局(IMM)を国の領域外(12マイル)上の海洋で運用する局と定義する
- 3.7. すべての送信機、受信機はアンテナを除いて直系500mの円内に配置していること
 - 3.7.1. この規定によりリモート受信設備は禁止
 - 3.7.2. 例外
 - 3.7.2.1. 電波で結ばれたリモートコントロール局はコントロール側で必要な機器を使える. これにはコントロール側を追加の受信設備として使うことを含まない
 - 3.7.2.2. マルチオペレーターおよびシングルオペレーターアンリミテッド部門でスポットやネットを使うことは可能
- 3.8. クロスバンドのコンタクトは認められない
- 3.9. レピーター、デジピーター、ゲートウェイを使ったコンタクトは認められない
 - 3.9.1. これにはすべての形態のレピーターや中継が含まれる
 - 3.9.2. サテライトのコンタクトはこの規定が適用されない

- 3.10. インターネットや電話といったアマチュア無線以外の手段を使ってコンテスト期間中にコンタクトをアレンジすることは禁止
- 3.11. 参加者でスポンサーのいない楯の受賞者はARRLコンテスト部門より楯を購入することができる
- 3.12. コンテストに関する問い合わせはコンテスト部門マネージャーまで電子メール contests@arrl.org または電話 860-594-0232 にコンタクトすること
- 3.13. すべてのARRLへ提出されたコンテストログは電子ログ、紙ログに関わらず時間順で一つのログまたはファイルであること. バンドごとに別々のファイルまたはログはチェックログ扱いとなり順位がつかないことがある
- 3.14. スポッティングネットが認められるコンテストでも自分のコールサインをスポットしたり他局にスポットを依頼することは禁止
- 3.15. 特に記載のない限り、ARRLコンテストで休憩時間が定められている場合は休憩時間は一回につき最低30分以上であること

電子ログの標準形式

- 4.1. ARRLの公式ログ形式はカブリロである
 - 4.1.1. カブリロログは正確に記されたヘッダー部分(サマリー情報)と各コンタクトを記載したログデータの両方を含むこと
- 4.2. 電子ログファイルはASCIIテキスト形式であること
 - 4.2.1. ワードプロセッサ(Word文書など)やデータベースプログラム(Excelスプレッドシートなど)からの出力ファイルやロギングプログラムの.binファイルなどのASCIIテキストでないファイルは受け付けない
- 4.3. カブリロ形式については以下より詳細を入手できる
 - 4.3.1. ARRLコンテストホームページ <http://www.arrl.org/contests>
 - 4.3.2. インターネット <http://www.kkn.net/~trey/cabrillo/>
 - 4.3.3. SASEに2単位の切手と\$1を同封して以下に請求
Cabrillo File Specs, Contest Branch, ARRL, 225 Main St, Newington, CT 06111
- 4.4. 電子ログはインターネットを通して電子メールでまたはディスクで提出する
 - 4.4.1. 電子メールで提出の場合はファイルはメッセージ本文ではなく添付して以下の該当のアドレスに送付する
 - 4.4.1.1.
10GHZ@arrl.org
10Meter@arrl.org
160Meter@arrl.org
AugustUHF@arrl.org
DXCW@arrl.org
DXPhone@arrl.org

EMECcontest@arrl.org
FieldDay@arrl.org
IARUHF@iaru.org
JanuaryVHF@arrl.org
JuneVHF@arrl.org
RTTYRU@arrl.org
SeptemberVHF@arrl.org
SSCW@arrl.org
SSPhone@arrl.org
StraightKey@arrl.org

4.4.2. 電子メールの題名にはコールサインのみ記載のこと。コンテスト名や参加部門などを記載しないこと

4.4.3. 電子ログファイル名にはコールサインと.logまたは.txtを使用のこと

4.4.4. zipファイルで提出しないこと

4.5. 電子ログは提出時にサインしたと見なされる

4.6. コンピューターで作成されたログは Cabrillo 形式で電子ログとして提出のこと。電子ログとして提出されなかった場合はチェックログ扱いとなり順位がつかないことがある

電子ログファイルを印刷した紙での提出は認められない

4.7. 各電子メール、各ディスクットの提出は一つの参加のみが含まれていること。

November Sweepstakes および International DX Contest の CW と SSB は別々のコンテストでログも別々に提出のこと

4.8. 提出されたディスクットは ARRL の財産となり返還しない

4.9. マルチオペレーター 2TX 部門は各コンタクトにつきどちらの送信機を使ったか明記のこと

4.10. 休憩時間の規定のあるコンテストではログチェックソフトウェアが参加者の休憩時間を計算する。Cabrillo ログファイル本文や Soapbox コメント欄に記載せぬこと

4.11. 電子ログファイルで必要なデータの記載のない場合(参加部門、コールサイン、送信出力、オペレーターリストなど)は該当データをデフォルトとみなすかチェックログ扱いとなる

4.11.1. マルチオペレーター部門は Cabrillo ログの OPERATORS: 欄にすべてのオペレーターを記載のこと

4.11.2. クラブコールサインが使用された場合は OPERATORS: 欄にオペレーターのコールサインを明記のこと

4.12. ディスクットでの送付先は封筒にコンテスト名を明記の上、

ARRL, 225 Main St, Newington, CT06111

念のため送付した日付を証明するレシートを得ることを推奨する

紙ログ

5.1. 公式の用紙またはファクシミリを使用のこと

5.2. ルール等は定期的に変更されるので、最も最近の公式の用紙を使うこと. 不完全なログや必要データの記載のないものはチェックログ扱いとなる

5.3. すべての必要QSOデータを手書きしたログはすべてのARRLコンテストで受け付けられる

5.4. 手書きログでもコンテスト後にワードプロセッサ、データベース、ロギングプログラムなどで処理された場合は電子ログとみなされる. この場合はカブリロ形式で電子ログとして提出のこと

5.5. 紙ログで500以上のQSOが含まれる場合はバンドごとの重複チェックシートを提出のこと

5.5.1. 重複チェックシートとはバンド、モード毎に整理したアルファベット、数字順にソートしたコールサインリストのこと. 重複交信をリストアップしたものではない

5.6. 紙ログでの送付先は封筒にコンテスト名を明記の上、

ARRL, 225 Main St, Newington, CT06111

念のため送付した日付を証明するレシートを得ることを推奨する

5.7. 一つの封筒には一つの参加のみ同封のこと

ログ提出

6.1. コンテスト終了後30日以内にログ提出のこと. 電子メールの場合は電子メールを送った日付、郵送の場合は消印を採用

6.2. 締め切りに間に合わずに提出されたログはチェックログ扱いとなる

6.3. ARRLにログ締め切りから30日以上経過して受領したログはQST誌に掲載されないことがある

6.4. 電子ログ、紙ログに関わらずサマリー情報に不備がある場合はチェックログ扱いとなることがある

失格、ペナルティ

7.1. 申告スコアが2%以上減点された場合は失格となる. 減点には計算エラーの修正を含まない

7.2. スコアの減点には未確認のコンタクトやマルチプレイヤー、重複交信での得点計上やその他の修正に対してなされる

7.2.1. 電子ログでの重複交信は零点とみなされ減点の対象ではない

7.3. 紙ログで2%以上の重複交信が残されていた場合は自動的に失格となる

7.4. ラバークロッキング(交信時間を修正して許容オペレーション時間を増やすこと)が2%以上見つかった場合は自動的に失格となる

7.5. 失格となった局は翌年の該当コンテストに参加できない. 例えば2000年のPhone SSで失格を受けた場合は2001年のPhone SSには参加できないが2001年のCW SSには参加できる

7.6. QST誌にすべての失格局のコールサインが掲載される

7.7. 失格ではないがボーダーライン上の参加者には警告レターが送付される

7.8. 紙ログで、得点計上されている重複交信、コールサインのミスコピー、コンテストナンバーのミスコピーは、ログから削除されてさらにペナルティとしてそれぞれ3コンタクトが削除される. 電子ログの場合は、得点計上されている重複交信、コールサインのミスコピー、コンテストナンバーのミスコピーは、ログから削除されてさらにペナルティとしてそれぞれ1コンタクトが削除される. ペナルティは2%失格ルールには該当しない.

7.9. いかなる場合もARRLアワード委員会の決定が最終となる

クラブコンペティション

8.1. - 8.10 ARRL/RAC登録クラブが対象のため未掲載